

標記大会が、7月30日に天理大学で開催された。大会は、ハイブリッド形式で行われ、天理大学の教職員には公開されたので、堀内は、オンラインにて視聴した。テーマは、「ホースセラピー～日本におけるその可能性～ 医療従事者との連携」。大会特別講演として、局博一東京大学名誉教授が、「馬介在療法の概要と研究事例紹介」と題して講演。そもそもアニマルセラピーとはどういうものか、また、効果が期待される症例やその効果の状況についての概説後、馬介在療法（ホースセラピー）の実際の効能などをグラフ等を用いて解説した。次いで特別講演1では、川嶋舟東京農業大学准教授が「ホースセラピーの有する可能性と展望」、特別講演2では、石井孝弘帝京科学大学教授が「ホースセラピー～医療従事者との連携～」というテーマで講演。ホースセラピーには、馬を世話する人（馬の専門家）や医療関係者など多くの専門家の関与が必要で、人の活動に馬を関わらせ、人の生活に変化をもたらすことが期待でき、本人にあった何らかの形で社会参加ができればいいことを目指していくためには、それぞれが自らの専門性を生かした協業が肝要であることが述べられた。また、特別講演後のシンポジウムは、「ホースセラピー～日本における可能性、福祉の分野、医療従事者との連携～」をテーマとし、シンポジストに角居勝彦氏（ホースコミュニティー）と高橋智氏（特定非営利活動法人EPO 放課後等デイサービスLEAF）が加わった。角井氏は、医療従事者との連携の重要性を強調した。

科学研究費助成事業「井筒俊彦の思想形成期における東洋思想とその学問的視座」（基盤研究（B）研究代表者：澤井真）の研究の一環として、8月18日に東北大学文学研究科で研究会を開催した。当日は、以下の3つの研究発表があった。各発表に対してコメンテーターがまずコメントと質問を投げかけ、その後フロアによる討論が行われた。

- ・小野純一（自治医科大学）「井筒俊彦と経験論哲学」  
コメント：山川仁（天理大学）
- ・バフマン・ザキプール（明治大学）「今日のクアーン研究と井筒俊彦のクアーン理解」  
コメント：澤井真（天理大学おやさと研究所）
- ・齋藤智寛（東北大学）「禅思想研究者から見た井筒俊彦の禅理解」  
コメント：山田史生（弘前大学）

井筒俊彦は、東洋の諸思想に関して、現代哲学や言語学の視点から研究を行いながら東洋哲学の構築を試みた哲学者で、天理大学とも関わりの深い人物である。今回の3発表は、井筒が東洋哲学について論じる以前に著した諸著作を扱った。

コロナ禍により、オンライン形式での研究会が長らく続いたが、最終年度である本年は感染対策を講じたうえで、可能な限り対面方式での研究会を実施している。なお12月には、国内の諸研究機関との共催で国際会議を予定している。

## 2022年度公開教学講座のご案内

### — 信仰に生きる『逸話篇』に学ぶ（8） —

2022年度の公開教学講座は、次の日程で、オンライン配信しております。

#### オンライン配信中

- |        |                           |
|--------|---------------------------|
| 第1回 5月 | 永尾教昭所長<br>151話「をびや許し」     |
| 第2回 6月 | 澤井真研究員<br>111話「朝、起こされるのと」 |
| 第3回 9月 | 岡田正彦研究員<br>139話「フラフを立てて」  |

#### 今後の配信予定

- |         |                          |
|---------|--------------------------|
| 第4回 10月 | 八木三郎研究員<br>108話「登る道は幾筋も」 |
| 第5回 11月 | 森洋明研究員<br>119話「遠方から子供が」  |
| 第6回 1月  | 堀内みどり主任<br>126話「講社のめどに」  |

グローバル天理

第23巻 第10号（通巻274号）

2022年（令和4年）10月1日発行

© Oyasato Institute for the Study of Religion  
Tenri University

発行者 永尾教昭

編集発行 天理大学 おやさと研究所

〒632-8510 奈良県天理市杣之内町1050

TEL 0743-63-9080

FAX 0743-63-7255

URL <https://www.tenri-u.ac.jp/oyaken/index.html>

E-mail [oyaken@sta.tenri-u.ac.jp](mailto:oyaken@sta.tenri-u.ac.jp)

印刷 天理時報社

Printed in Japan